

つるおかみらいフォーラム

デジタルでつながる町内会・自治会

2025年9月30日



酒本 宏

全国1300以上の町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏 (さけもと ひろし)

- 株式会社KITABA 代表取締役
- 技術士(都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師(コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 中小企業基盤機構 アドバイザー(商店街・中心市街地)
- 札幌市内の町内会の総務部長

- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年 札幌市、仙台市、函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、
砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務(～継続中)
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、北海道斜里町で講演
- 2022年 仙台市、栃木県宇都宮市、砂川市、余市町、斜里町などで講演・ワークショップ
- 2023年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務、久留米市、堺市、川崎市、仙台市、
石巻市、盛岡市、大阪市職員研修、函館市職員研修などで講演・ワークショップ
- 2024年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務、横浜市都筑区アドバイザー、久留米市、
北九州市、加古川市、仙台市、盛岡市、旭川市、網走市、大空町、芽室町
せたな町、江別市、大阪市職員研修、函館市職員研修などで講演とWS



今日の話題提供

1. 地域コミュニティの現状
2. ニーズの発掘とつながりづくり
3. デジタルでつながる町内会・自治会



1. 地域コミュニティの現状

(1) 地域コミュニティの課題



●地域コミュニティでバスを運行(地域交通)

- 人材不足でバス路線の維持が難しくなり郊外部の地域コミュニティでは地域の足の確保が課題になっている
- 札幌市や函館市などでは自治会・町内会がバス会社と連携して地域の足の確保に動き出している。

札幌市厚別区

- バスの減便を受けて町内会が中心となり観光バス事業者の協力によりバスを運行
- 料金は60円アップ、便数も減少



札幌市厚別区 <https://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/joho/news/2024/20250401.html>

●NPOが生活支援サービス(買い物)

- 北海道芽室町上美生地区では、唯一の店舗だったAコープが閉店。
- 地域住民が「NPO法人上美生」を組織し、店舗運営を行っている
- 店内にはフリースペースもあり、交流イベントなども実施されている。

みんなのお店KAMIBI(芽室町 上美生地区)



https://www.instagram.com/minna_kamibi/



https://www.facebook.com/photo/?fbid=1028436732636967&set=a.420831030064210&locale=ja_JP

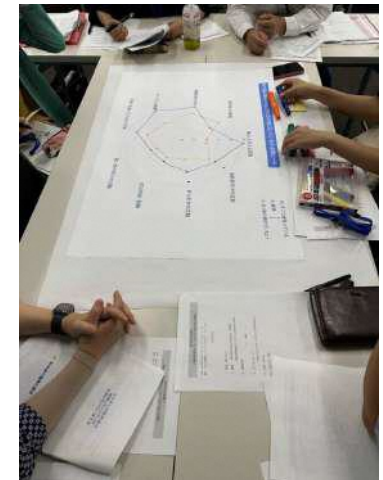
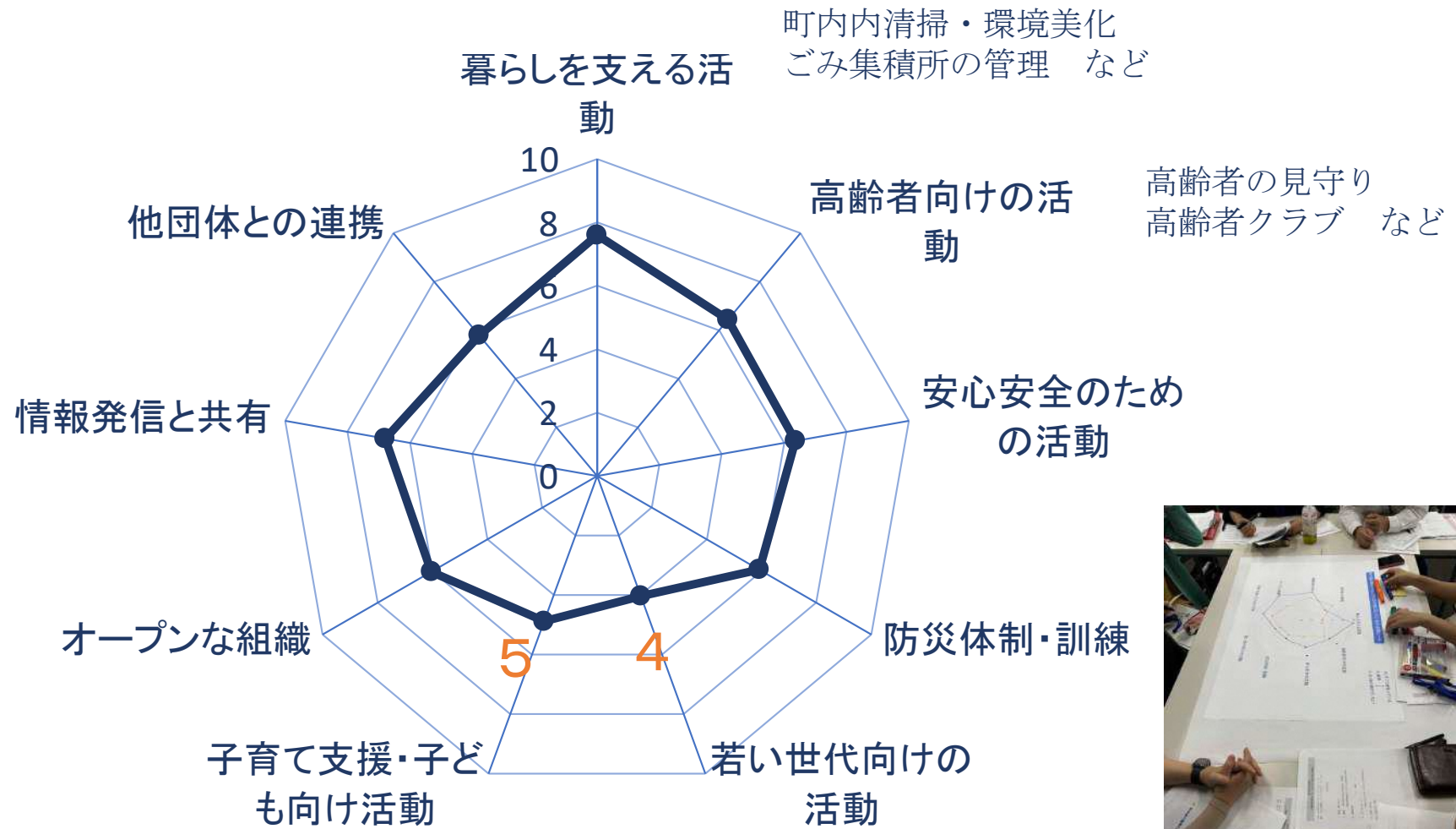
(2) 町内会が高齢化で担い手不足



加入率の低下

担い手不足

(3) 町内会・自治会は高齢者向けの活動が多い



○高齢化社会のため高齢者中心の活動になっている町内会

- 急激な高齢化により、役員の高齢化、そして高齢者向けの活動が中心になっている。

■ある町内会の年間行事

	主な活動	主な参加者
4月	町内会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	クリスマス会・餅つき	子ども
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

(3) 地域コミュニティへのニーズ

育児中の住民



- 子育て中は孤独になりがち
- コミュニティのなかで子育てのアドバイスがあると良い
- 情報はInstagram、LINEで欲しい

子育て世代



- 子ども向けイベントがあるとよい
- 多世代交流があるとよい
- 地域食堂などがあると助かる
- 子ども向けのクリスマス会などは手伝える
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

若い世代



- 孤独を感じている
- 適度な人のつながりは必要
- コミュニティカフェなどが欲しい
- お祭りは楽しみにしている
- 情報はInstagram、LINEとかで欲しい

高齢者



- 健康イベント、カラオケ会を開催して欲しい
- 祭りは欠かせないし、日帰り旅行もやって欲しい
- 情報は回覧板もあった方が安心

外国人



- 町会を知らない
- 地域コミュニティのルールを教えて欲しい
- 地域コミュニティの方々ともっと交流したい
- わかるように情報提供してほしい

○忘れられている中学生と高校生

中学生
高校生



- 友だちとおしゃべりできる場所が欲しい
- 家の近くで気分を変えて勉強できる場所があると良い
- 情報はInstagram、TikTokで欲しい



●集合住宅でも自治会・町内会へのニーズはある

他の地域の住民アンケートでは、
広い世代から支持が多いイベント

お祭り

デジタル
回覧板



自治会の情報を伝えるために
デジタル回覧板なども必要

マンションに子育て世代が多く
入居するようであれば、町内会
に関心を持ってもらえるイベント

子育て
サロン

子どもの
イベント

マンション購入者も防災のことは
気になるポイントです。
町内会が防災活動をPRしてマン
ションの方々に参加してもらうこ
とが加入促進うえからも効果的

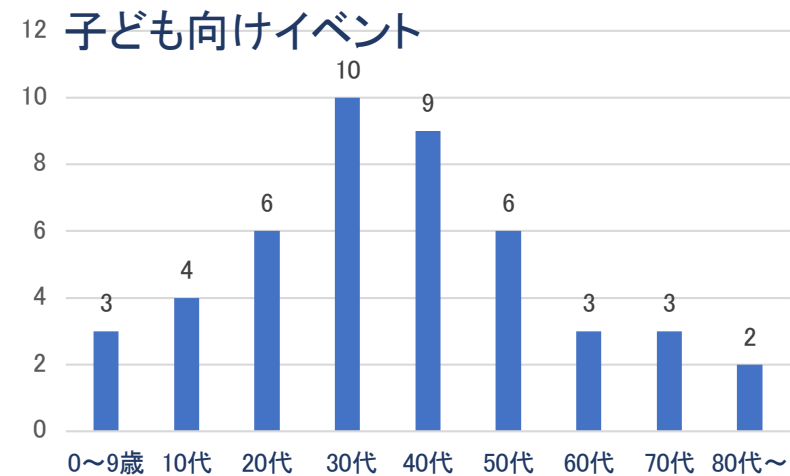
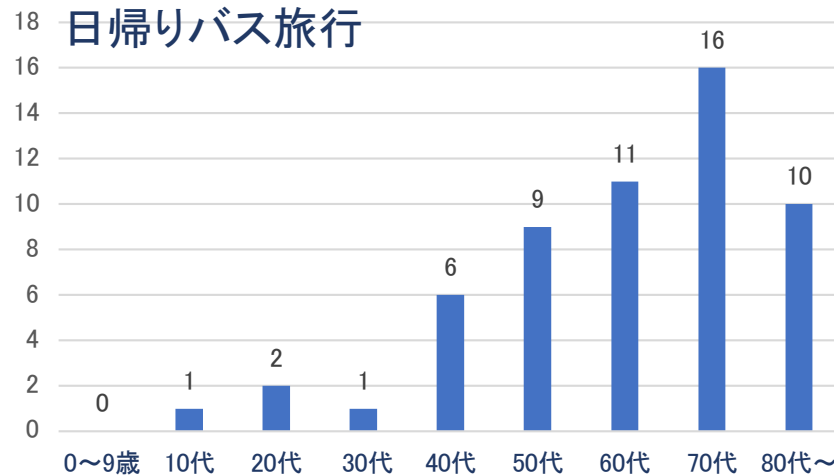
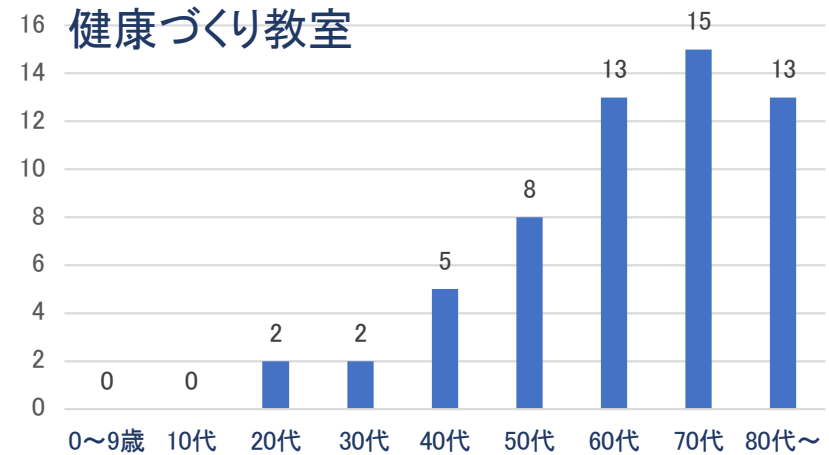
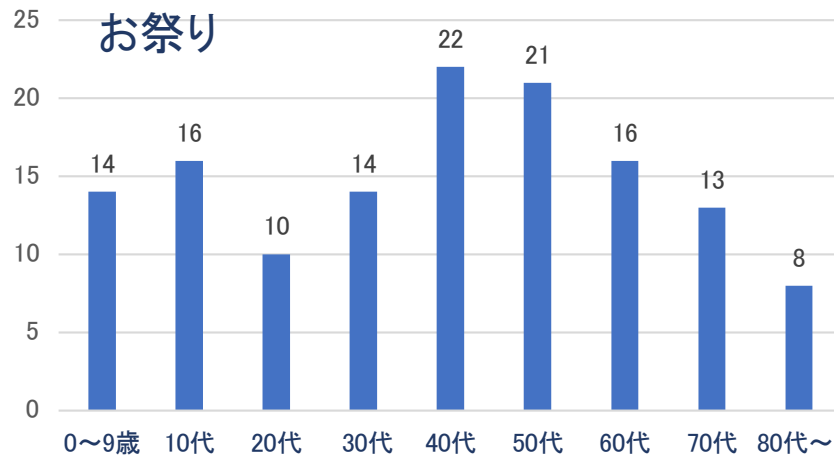
防災訓練
DIG
(図上訓練)

初めての地域のことは誰もが知
りたいと思っている。
町内会で新しい住民にまちのこ
とを案内するイベントは自治会を
知ってもらう上からも効果的

まち歩き
イベント

○年代別のニーズ

- 地域コミュニティへのニーズは世代によって異なる



札幌市内のある町内会のアンケート結果より

(4) 担い手不足・加入しない要因

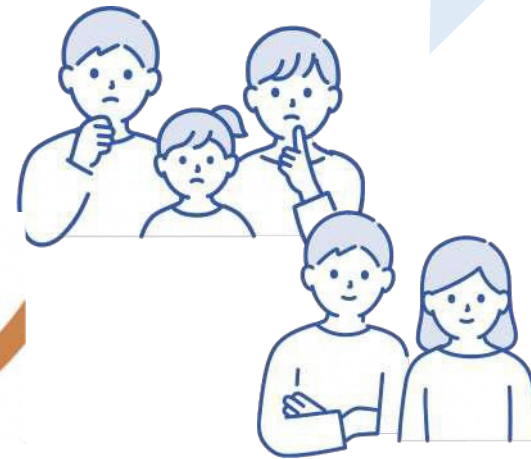
高齢者中心の運営
若い世代のニーズが
わからない
若い世代向け行事を
実施していない

地域コミュニティは必要
自治会のことは知らない
情報が届かない
必要性を感じない
時間がない
参加するきっかけがない

自治会役員



つながりが
少なくなっている

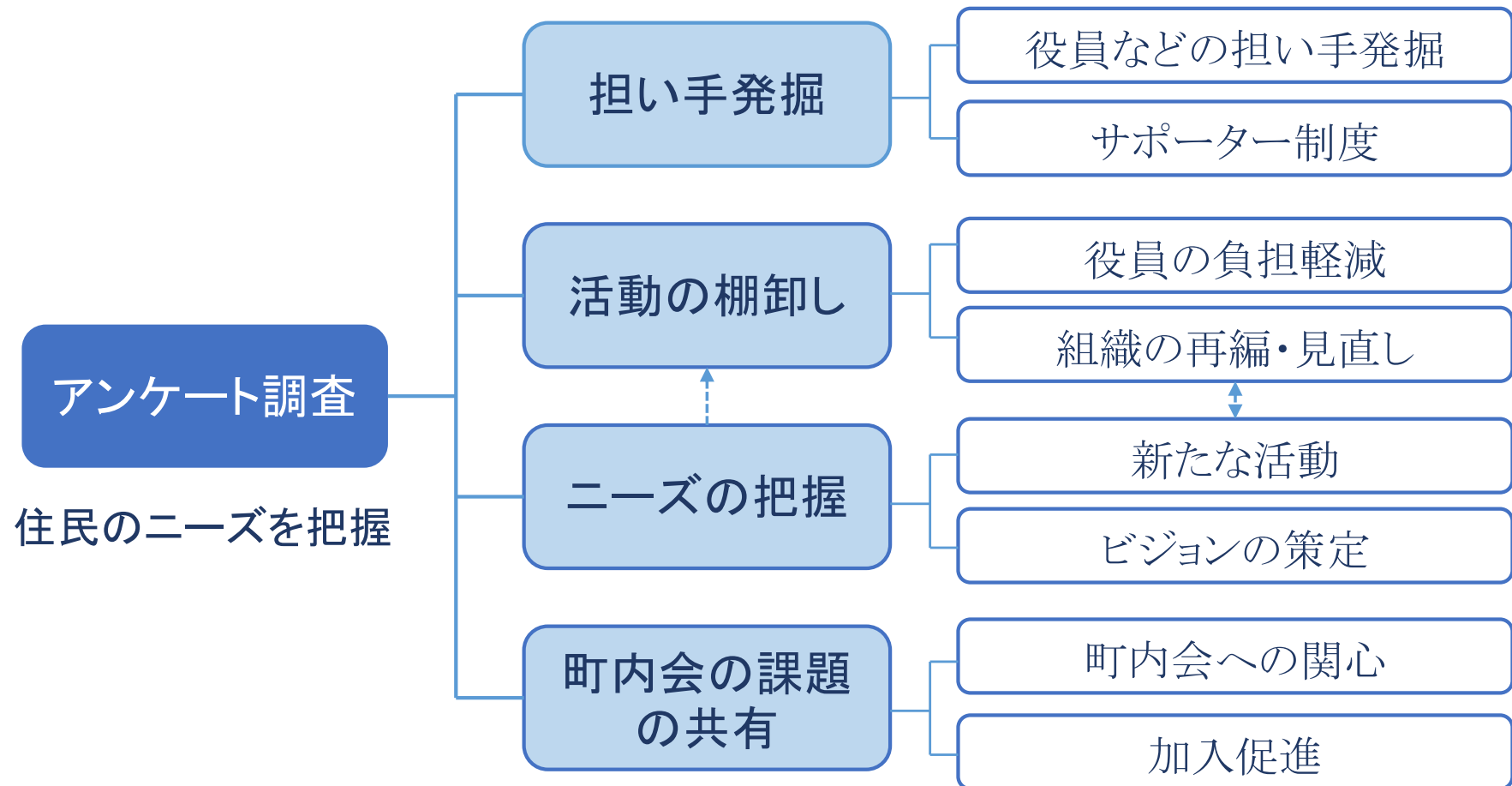


住民

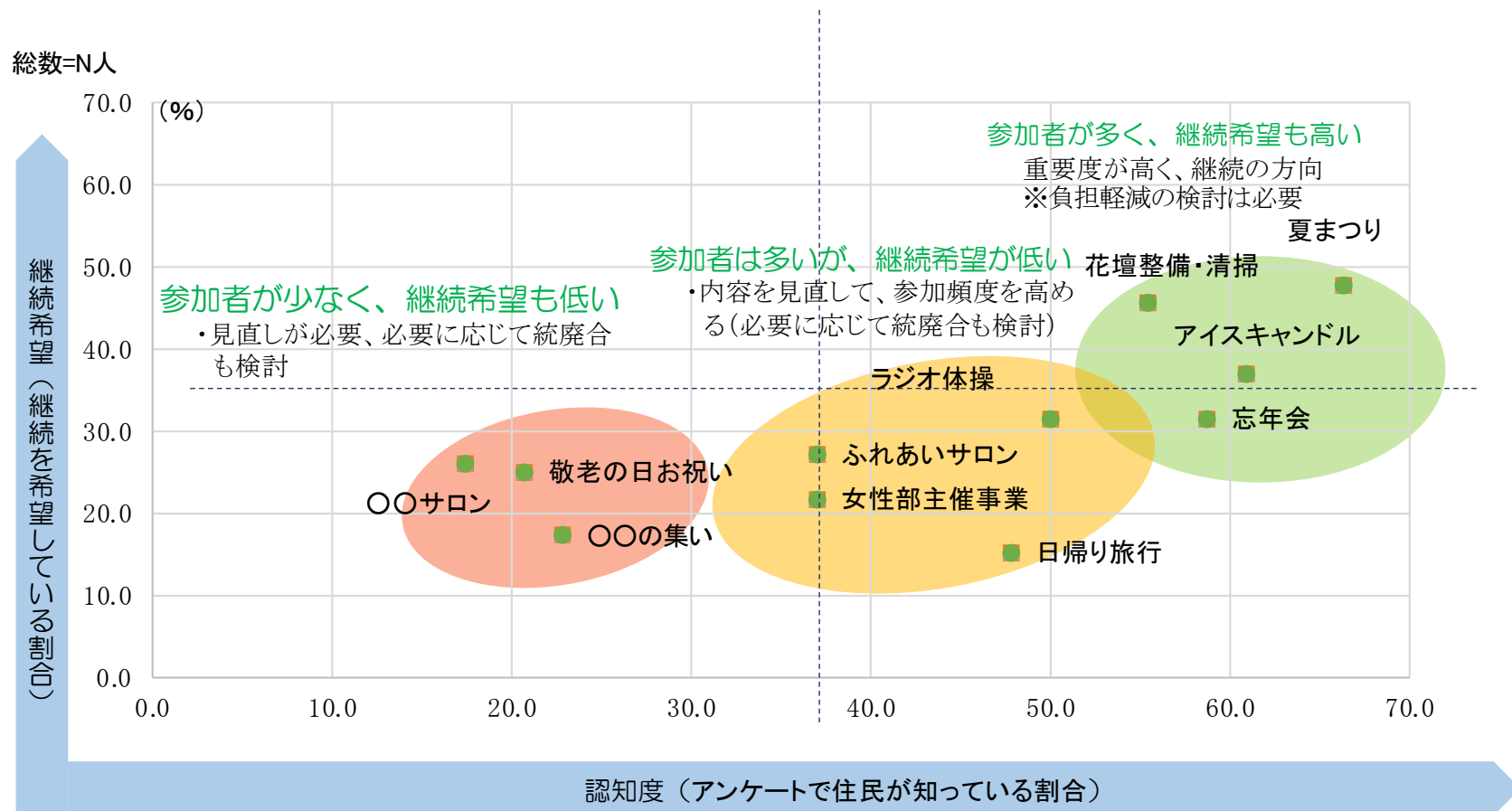
2. ニーズの把握とつながりづくり

(1) ニーズを把握するアンケートの実施

- ・ アンケートで住民ニーズの把握と人材発掘を行います。



- アンケートの結果に基づいて活動の棚卸しを行います。
- アンケートに基づいて活動を行うことが必要です。



(2) アンケートによる人材発掘

- 役員や行事の手伝いなど、どのように自治会活動に参加できるかを確認することが重要です。

サポーターの顔合わせ会の実施など

- アンケートで名前を書いていただいた方に直接アプローチ
- 顔合わせ会を実施し、実際にどのように町内会運営に取り組めそうかを話し合った。
- サポーターは顔合わせ時にLINEなど連絡を取りやすい手段でつながることが大切である。

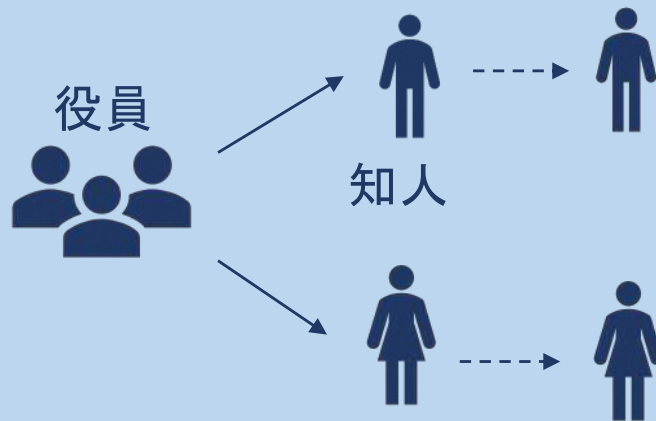


アンケートで広く人材の発掘

- 自治会役員は、顔見知りからが多く、その範囲や世代は限られています。
- アンケートで広く人材を発掘することが大切です。

アンケートでの人材発掘範囲

役員による直接的な人材発掘範囲



顔見知りの範囲・世代が近い

地域コミュニティの
力が必要

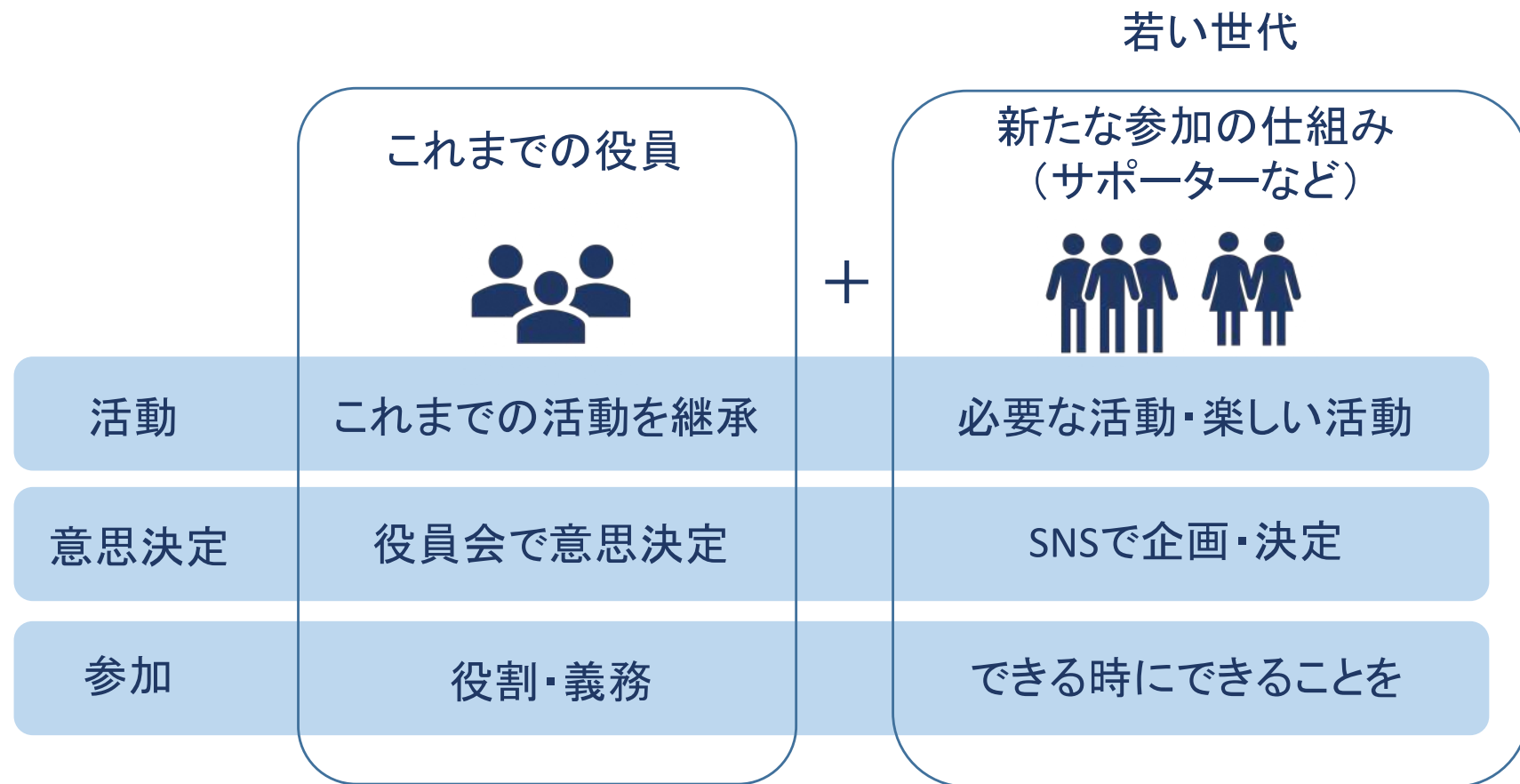
子育て世代など

やれる時に
やれる範囲内で

地域に貢献したい

(3) アンケートから柔軟な参加の仕組みをつくる

- 若い世代が参加しやすい仕組みをつくる必要があります。



アンケートから再生した町内会（札幌市富丘東四町内会）



担い手不足で
町内会の解散を役員会で決定



解散の前にアドバイザーに相談



住民にアンケート
解散を支持したのは1割
若い世代の発掘



発掘した若い世代との意見交換
新たな活動のアイデア

アンケートに基づく組織の見直し
日帰り旅行、新年交流会などを廃止
部の統廃合によって組織を縮小
サポーター制度（できるときにできることを）

サポーターの
企画運営によるイベント
ハロウィン・クリスマス会



サポーターの増加

サポーターが企画・開催したクリスマス会



3. デジタルでつながる町内会・自治会

(1) デジタルでつながる町内会・自治会

- 回覧板では、町内会・自治会の情報は届いていないと考えましょう。
- 若い世代向けにSNSで情報発信を行いましょう。



- 子どもの頃、お祭りに参加した
- 今は町内会は知らない
- 回覧板はみたことがない



- 新聞は取っていないしテレビも見ない
- 情報はSNSから
- SNSでつながりコミュニティをつくる

●デジタル化の利点

○地域の人とつながりやすくなります

- ・ 役員同士の連絡が容易になります。
- ・ 住民へ緊急連絡がしやすくなります。
- ・ 一人暮らしの方の安否確認などにも活用できます。

○どこからでもつながりやすくなります

- ・ オンラインで参加できるようになります。
- ・ 現役世代が町内会の会議などに参加しやすくなります。

○情報共有がしやすくなります

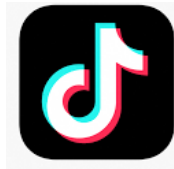
- ・ 災害時などの緊急の情報共有しやすくなります。
- ・ 過去の記録をデータで保存できます。
- ・ 回覧板を見ない若い世代へ情報を伝えやすくなります。

○訪問の手間などを軽減できます

- ・ 電子回覧板により訪問の手間が軽減できる可能性があります。
- ・ 将来電子決済などを導入することで、会費の徴収などの手間を軽減できる可能性があります。

●世代によって異なる利用するSNS

10代・20代前半



新聞・テレビは見ない
ネットで情報収集

20代・30代・40代



Instagramで情報収集

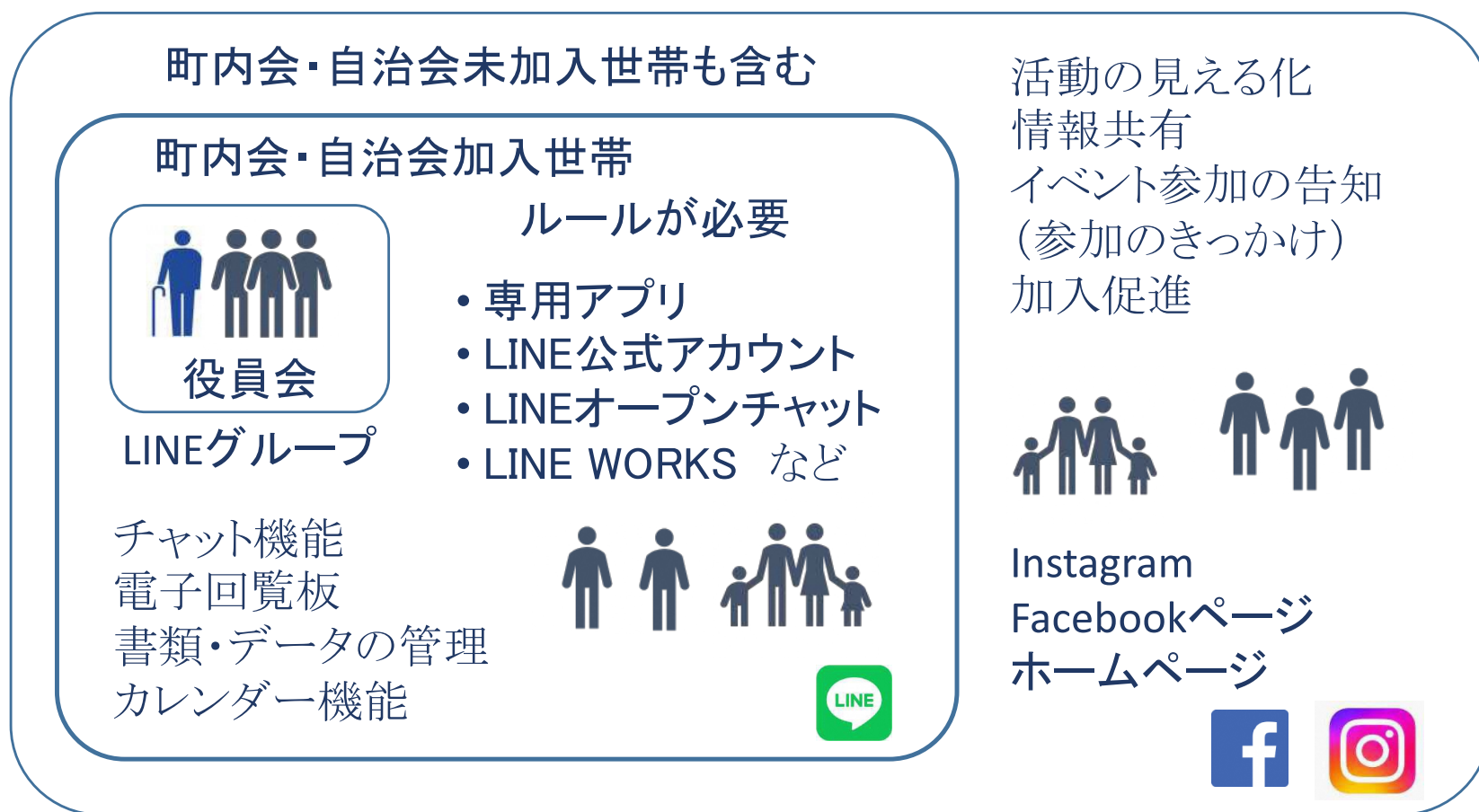
50代・60代・70代



Facebookが多い
コミュニケーションはLINE

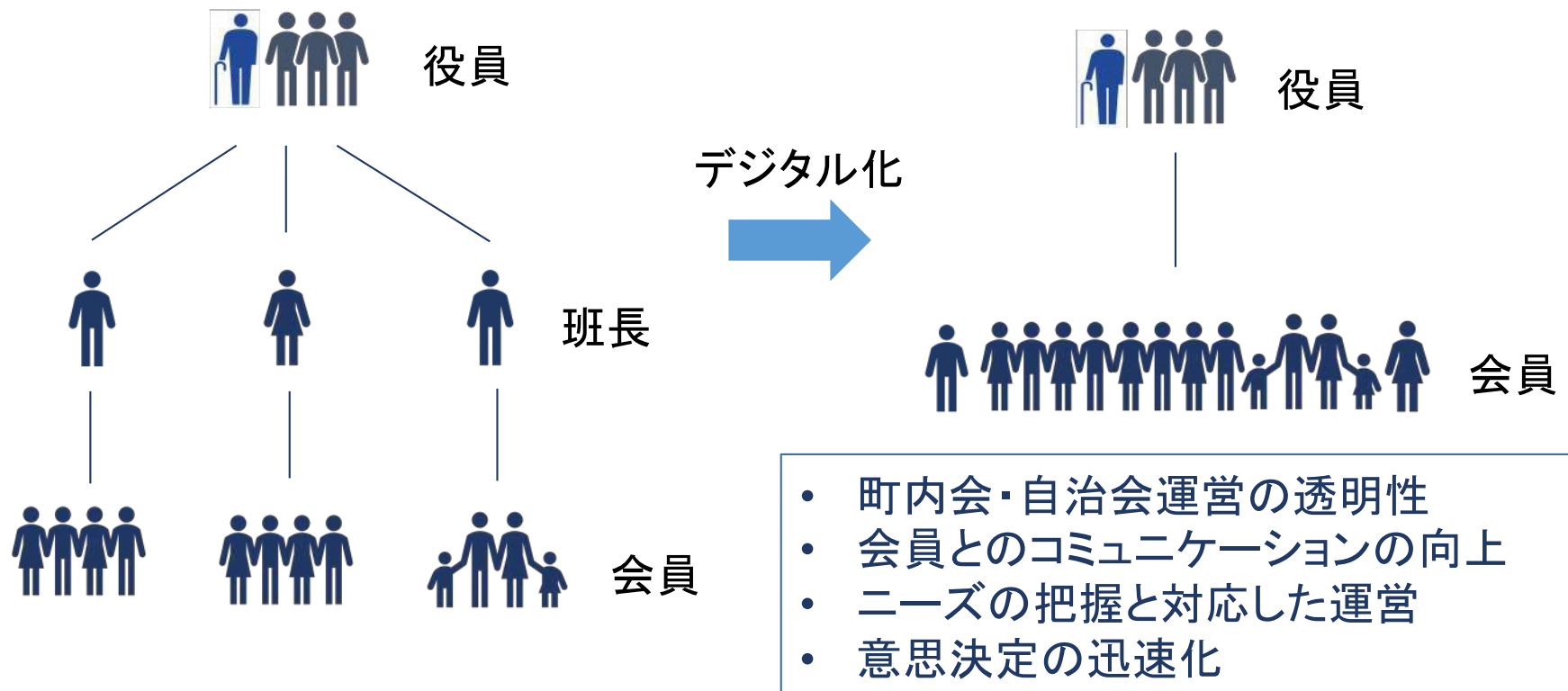
●町内会・自治会のデジタル化とツール

- 町内会・自治会加入世帯向けのツールと未加入世帯も含めたツールを使い分けることが大切です。



(2) デジタル化と町内会・自治会運営

- デジタル化によって情報伝達のフラット化が可能になります。
- フラット化により、運営の透明性、コミュニケーションの向上、ニーズの把握とニーズに対応した運営、意思決定の迅速化にできるようになります。



(3) 町内会・自治会のデジタル・ツール

① 町内会・自治会専用アプリ

ツール名	概要	費用	町内会の活用方法
①結ネット	- スマートフォンアプリ - 電子回覧板や情報発信ツールとして利用 - 災害時には安否確認システムとして活用	- 町内会 3,000～円/月 - 世帯 100円以下/月	- イベントの案内や参加確認、広報や資料を掲示板として共有を行えます。 - 災害時には連絡に対しての個別の既読確認ができます。 
② eメッセージ回覧板	- 全国の自治体・学校で利用 - 会員にメールで配信	町内会 4,000～円/月	- 電子回覧板と紙の回覧板を併用して使っています。 - メリットは「緊急時の情報発信の速さ」や「好きな時に回覧板を見返せる」等の意見があります。
③Yumicom	- 電子回覧板や世帯管理などもできる - 電子決済機能も可能	- 基本料金＋世帯ID数 300世帯で 28600円/月	- パソコンやタブレットでも利用が可能 - 回覧板機能とカレンダー機能を持っている。 - グループチャット機能がある - 文章や写真の保全ができる。

※上記のアプリの他にマ・メール、町内開帳など、複数の有料アプリがあります。

●町内会・自治会加入世帯向けのツールの活用例

専用アプリ(Yumicom)～ほしみ町内会(札幌市)

- 複数の自治会・町内会アプリを比較検討し、Yumicomを導入した。
- 講習会を数回開催し、現在は世帯導入率約8割となっている。
- LINEは心配という方も導入してくれているほか、80代の世帯も導入している。
- 年間費用は30万円ほどかかるものの、カレンダー機能、世帯管理、文章ライブラリ、回覧板機能、チャット機能、電子決済機能(3.6%の手数料)、見守り機能などがあり、役員の負担軽減も大きく、導入した価値はあるとのこと。
- 見守り機能は、朝にメールが送られ一定期間返信がないと遠隔の家族と役員に連絡が来る仕組みとなっている。

Yumicomの主な機能

- イベントカレンダー機能
- グループチャット機能
- デジタル回覧板
- 会費集金機能



②町内会・自治会(加入世帯内)で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	自治体の活用方法
LINE グループ	身近な友だち向け・少人数での利用に適している	無料	役員間などでは適しているが、町内会単位は参加者が多くなり運営が難しい
LINE 公式アカウント	登録者に一斉配信	- 月200通の発信まで無料 - それ以上は有料	- 登録者に管理者が情報を一斉に配信する - 登録者から管理者へ返信ができるが、他の登録者はそのやり取りを見ることができない。 - 閲覧しているかはチェックできない - 一定数以上の登録者がいると簡単なデータを見ることができる
LINE オープンチャット	- 登録者に一斉配信 大人数への情報発信に適している - ニックネームで参加できるのでプライバシーが守られる	無料 (5000名まで参加可能)	- 上記のLINEグループが匿名になったものとする - 会話はすべての登録者が見ている状況 - 既読数が解る。 - リアクションのルールを誰が見たかわかる - ニックネームでの登録、無料で運用できることが、LINE公式アカウントと異なる

ツール名	概要	費用	自治体の活用方法
LINE WORKS	- 社内や取引先とのビジネスコミュニケーションツール - 少人数での利用に適している	30人まで無料 - それ以上は有料	- 組織内でのコミュニケーション、情報共有に適している - LINE利用でチャット形式でコミュニケーションが取れる - 既読者を把握できる - 最大200人まで参加可能なビデオ通話・音声通話
Band	- LINEのようにグループでのお知らせが可能 - 日程共有・出欠管理などの機能 - グループのコミュニケーションを効率化させる	無料	- 活動ごとにグループを複数作成可能 - 特定の人物にのみメッセージを送ることが可能 - 掲示板タイプなので過去の投稿も確認することが可能 - PTAなどで活用している事例がある 

③自治会・町内会（未加入世帯も含む）で活用が想定されるSNS

ツール名	概要	費用	自治体の活用方法
Facebook ページ	町内会名などで作成し、ホームページの代わりとして活用できる	無料	- 写真と文章を掲載できる - 外部からも閲覧ができる。 - 外部への情報発信で活用している町内会が多い 40代・50代・60代の利用者が多い - Instagramと連動している
Instagram	町内会名で作成	無料	- 写真と文章を掲載できるが、写真が主となる - 外部からも閲覧ができる - 外部への情報発信で活用している町内会がある 20代・30代・40代の利用者が多い

●LINEグループを活用した役員内のコミュニケーション

- 役員間では、LINEグループで情報共有や合意形成を行います。
- 役員間の連絡の手間や役員会の回数を減らすことができます。
- LINEグループで役員の負担が軽減することで、現役世代が参加しやすい町内会運営につなげることが大切です。

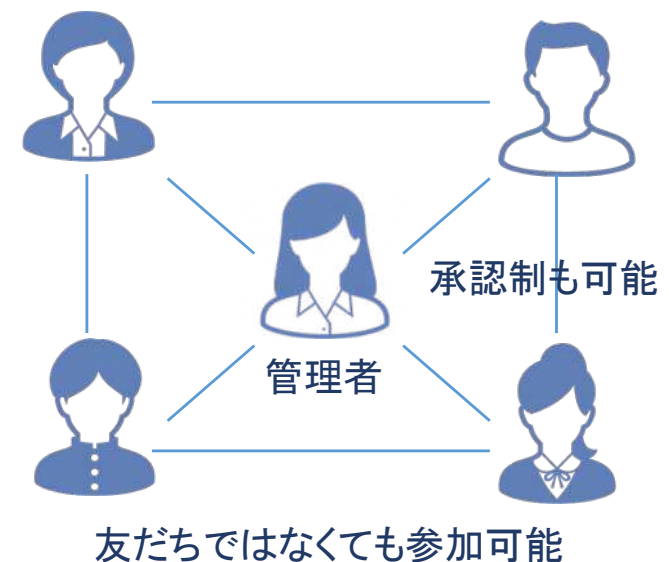


④LINEオープンチャット・公式アカウントでの回覧板



LINEオープンチャットでの情報共有

- LINE公式アカウントの料金設定が変更されたことにより、LINEオープンチャットの活用を検討する町内会・自治会が増えています
- LINEグループの大きなものと考えましょう
- LINE公式アカウントと似ていますが、ニックネームで登録できるため、誰が登録しているかわからないこともあります。
- 登録者に情報を一斉に配信することができます
- 既読数が解ることと、ルールをつくと誰が見たかわかります
- 5000名まで登録できることから無料と言えます。
- LINEグループのようにグループ同士のやり取りはできるが、1対1のやり取りはできません
- LINEの「友だち」になる必要がありません。
- アカウントも公開されません。
- QRコードを作成するできます



●LINE公式アカウントのリッチメニュー（上志段味自治会（かみしだみ））

- LINE公式アカウントのトーク画面下部に固定表示される画像付きのメニューです。
- 画像をタップすると、ホームページなどへの誘導や大切な情報への誘導表示などアクションを設定できます。



⑤Facebookページで情報発信

- 町内会の回覧をFacebookページでもアップして広く周知しています。



⑥Instagramによる自治会・町内会の情報発信

- 町内会・自治会の活動を写真や動画で発信します。



● Instagramを活用したイベントの集客

- 自治会イベント専用ハッシュタグ(#〇〇自治会)
- 地域ハッシュタグの活用
「#横浜市」「#都筑区」「#〇〇自治会」
- 視覚的に目を引くポスターの投稿
- 過去イベントのハイライト動画
- 準備の様子やスタッフインタビュー
- カウントダウンスタンプ
- リマインダー投稿とリールでのアピール
- 当日のライブ配信



(4) ホームページの運用(SNSとの使い分け)

- ホームページは「公式情報」、SNSは「速報・コミュニケーション」として位置づけると、住民にもわかりやすく、情報管理がしやすくなります。

ホームページ



連動

SNS



公式情報の発信や基本情報の公開

- 町内会・自治会の基本情報(設立目的、組織構成、連絡先など)
- 年間行事の予定
- 会議の議事録、規約や役員一覧などの重要な情報
- 新規会員向けの情報(加入方法、会費についてなど)

LINEなど

- 会員同士のコミュニケーション(意見交換や質問応答)
- 緊急時の連絡(災害情報や安全に関する注意喚起など)

Facebook・Instagram

- 日々の活動の見える化
- イベントの告知や当日の天候による予定変更の案内

(5) 町内会・自治会のSNSを知ってもらう

- ・ 町内会・自治会が導入したSNSなどの普及を進めましょう。
- ・ 町内会・自治会のSNSの活用は普及が重要です。

町内会・自治会のSNSの開設

LINE公式アカウントやLINEオープンチャットなど町内会・自治会のSNSの開設

町内会・自治会のSNSの告知

住民の方々にLINE公式アカウントやLINEオープンチャットに参加してもらうために告知をします。

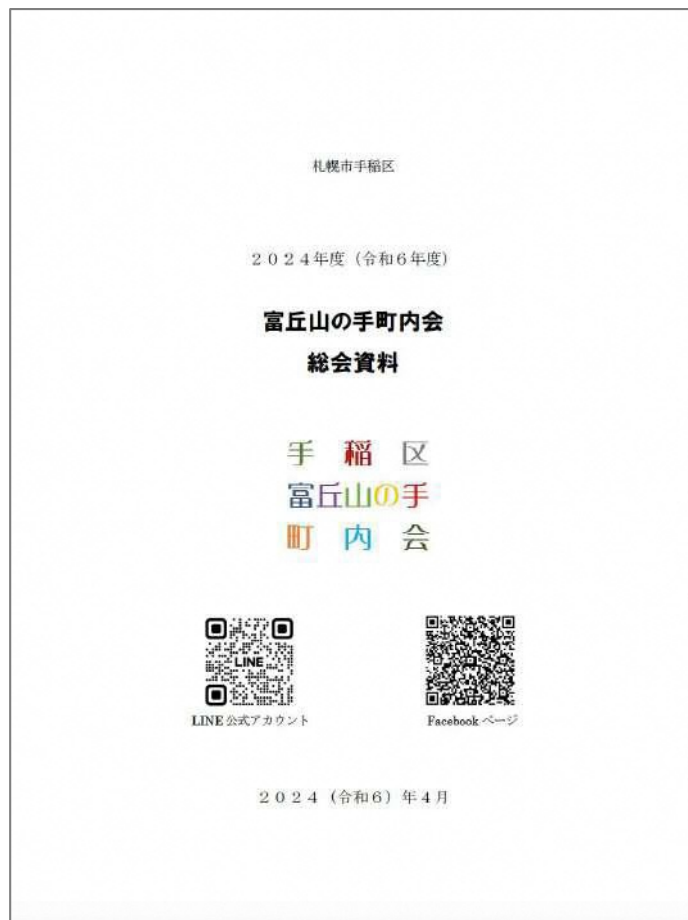
- ・ 回覧版に毎回告知する
- ・ イベント時の看板で告知する
- ・ 総会資料にもQRコードをつける

研修会などの開催

- ・ 参加促進のために、研修会を開催
- ・ 町内会・自治会で実施しているサロンなどでも簡単な講習を行います

①町内会・自治会のSNS導入の告知

●パンフレット・チラシ・ポスター・総会資料で告知



町内会のFacebookページやLINE公式アカウントなどのサイトに連動するQRコードをつけ、入口をつくる



②町内会・自治会の住民にSNSに参加してもらうための研修会などの開催

- 研修会は気軽に楽しく参加できるようにしましょう。



(6) デジタル化で若い世代に参画してもらいましょう

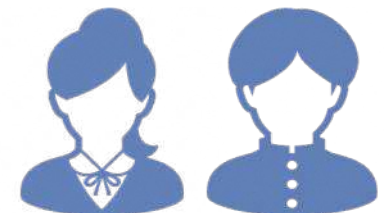
- できないことを高校生や学生さんをお願いしましょう！
- しっかりと役割分担を明確にをお願いしてみることで、「それならお手伝いできるかも」という方が出てくるかもしれません。



投稿だけなら
できるよ！



学生さんも
町内会で活躍！



ご清聴ありがとうございました



演習

LINEのオープンチャット

株式会社KITABA 松田 沙織

松田 沙織(まつだ さおり)

- 株式会社KITABA マネージャー
- 札幌市をはじめ、道内外の自治体における地域コミュニティ運営、活性化に携わる。
- 札幌市や、砂川市、北広島市、八戸市などで町内会における若い世代の参画やLINE等を活用した町内会のデジタル化をテーマにした講演を実施、また千歳市、仙台市、宇都宮市、戸田市などで地域コミュニティをテーマにしたワークショップを運営。
- 子育て世代、働き世代との座談会やワークショップなどを通じ、特に若い世代が参画しやすい町内会運営やこれからの地域コミュニティ運営などについて取り組む。

LINEオープンチャットをつくる

LINEアプリのトークから
オープンチャットをタップ



オープンチャットの基本情報の入力

- オープンチャットの名前を入力します
- なんのためのグループなのかわかりやすいものを設定しましょう

オープンチャットの説明を入力します
用途などを詳細に説明します。

- 町内会の情報交換用
- お祭りの準備・運営用
- 趣味の話、子どもについて話そう など

<検索を許可>

オープンチャットのメイン画面から、このオープンチャットを検索できるようにするかを決めることができます。

The screenshot shows the 'Create Open Chat' screen. Red lines and boxes highlight specific fields: the chat name field is labeled 'オープンチャット名を入力' and contains '〇〇町内会オープンチャット'; the description field is labeled '説明' and contains '〇〇町内会の情報交換用オープンチャットです。'; the search permission toggle is labeled '検索を許可' and is turned on. A dashed red box at the bottom is labeled 'プレビュー'.

11:58

オープンチャットを作成 次へ

この画像はオープンチャットのプロフィールおよびトークルームの背景に適用されます。

オープンチャット名を入力 *

〇〇町内会オープンチャット 13 / 50

説明

〇〇町内会の情報交換用オープンチャットです。 22 / 1000

「#」から始まるハッシュタグを入力

カテゴリ

カテゴリを設定すると、ユーザーが検索した時にこのオープンチャットが見つかりやすくなります。

ゲーム スポーツ 芸能人・有名人 同世代

アニメ・漫画 金融・ビジネス 音楽

地域・暮らし ファッション・美容 イラスト

検索を許可

他のユーザーがメイン画面からこのオープンチャットを検索することができます。

他のユーザーがオープンチャットのプロフィールと検索結果で、最新メッセージの一部を見ることができます。プロフィール画像はランダムなイラストで表示されることがあります。この設定はいつでも変更できます。

プレビュー

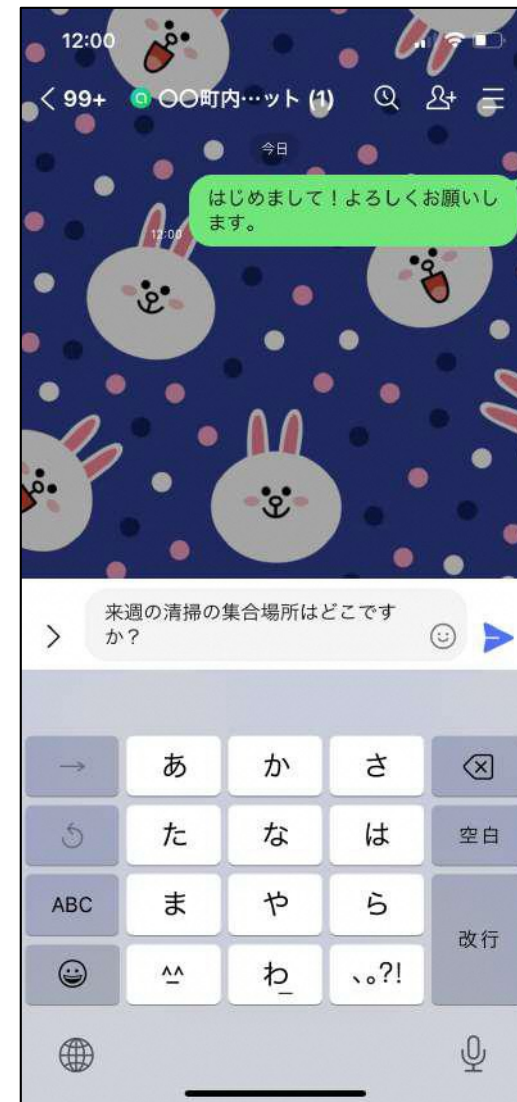
プレビューで確認し、問題なければ「次へ」をタップ



プレビューでオープンチャットが
どう見えるかを確認することができます。



これでオープンチャットの開設は完了！
自分の名前・アイコンを決めてチャットに参加！



先ほどのオープンチャット参加
の時と同じ手順です

セキュリティや管理者の 設定を変える

オープンチャットに入るまでの画面



セキュリティを設定されていない
場合はそのまま参加できる

オープンチャット
に参加

セキュリティを
設定した場合

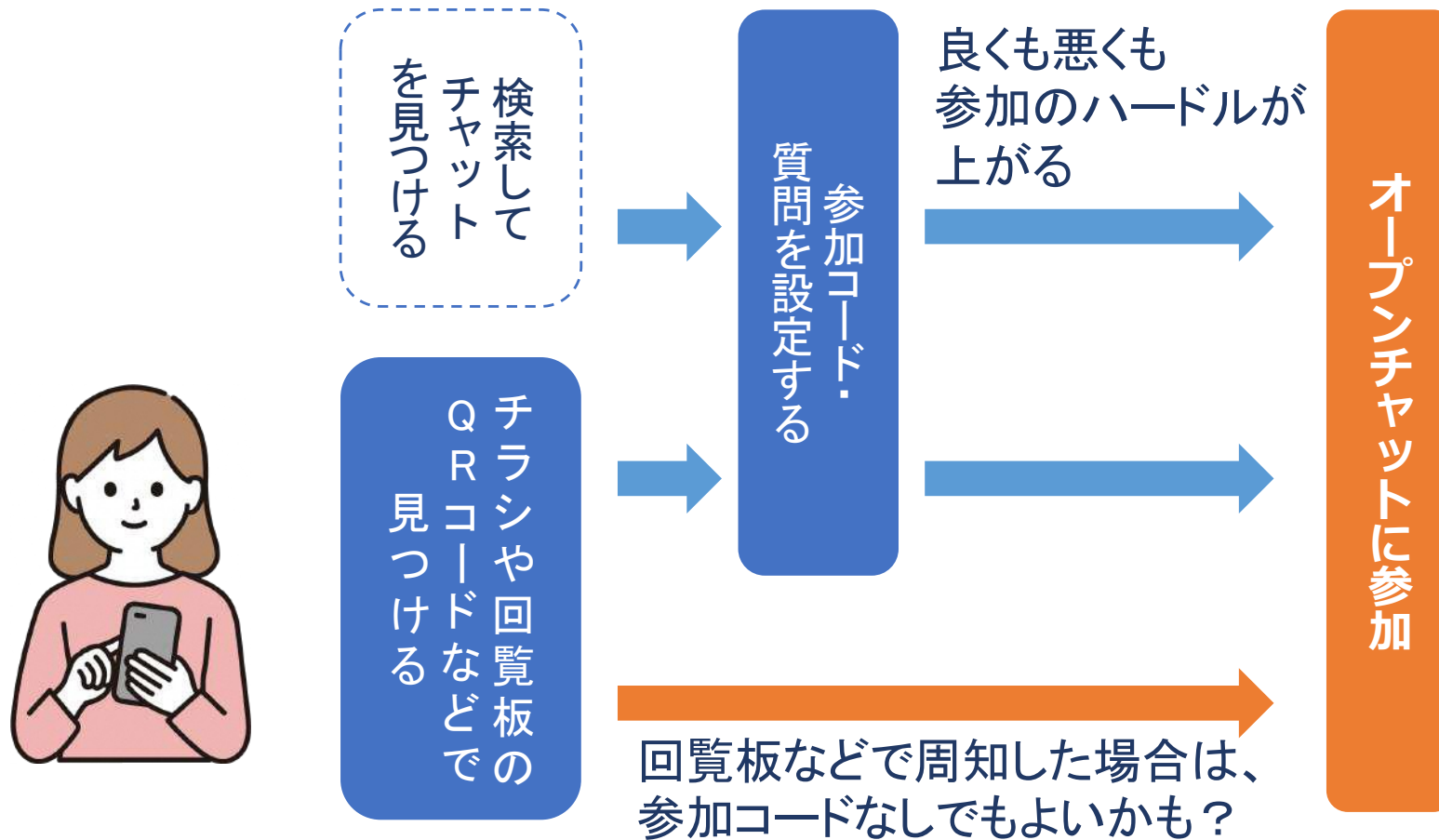
パスコードを入力

質問を設定

オープンチャット
に参加

オープンチャット参加のセキュリティをどれくらいあげるか？

用途や話したい内容によって異なるため、その時々での判断が必要



オープンチャットの設定を変える



右上の3本線を
タップ



「設定」をタップ



オープンチャット設定の画面



特に大切な項目
「メンバー管理」「公開設定」

公開設定を変える

全体公開は誰でも入ることができる設定です。
町内会などの誰でも参加してほしくない場合は、公開設定をする方がよいです

12:55

< 公開設定 ×

全体公開 ✓

誰でも参加できます。

参加コードの入力

参加の承認

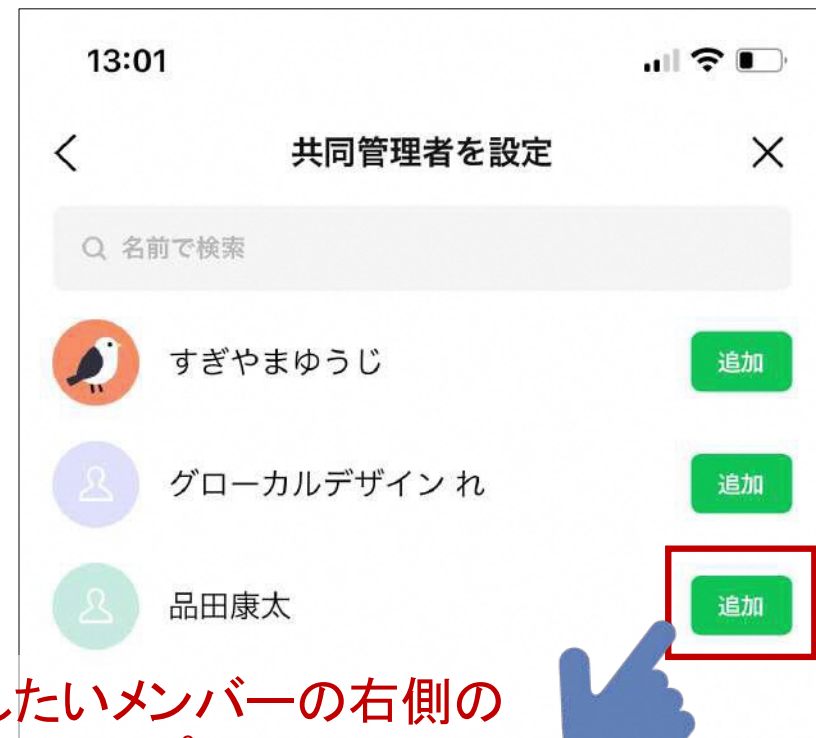
トークルームに参加するには、参加コードの入力または管理者による承認が必要になります。

4～8文字の半角英数字の参加コードを設定できます。
最初に参加していただいた設定はこちらです

参加を希望する方へ質問をすることができます。回答を確認し、参加を承認できます。
「所属する班とお名前をご記入ください」など

メンバー管理

- オープンチャットを作った人は「管理者」となり、参加の承認や設定の変更を行うことができます。
- 複数名で管理する場合は、「共同管理者」を設定するとよいです。



追加したいメンバーの右側の
「追加」をタップ



ちなみに1 (管理者や共同管理者を確認する方法)



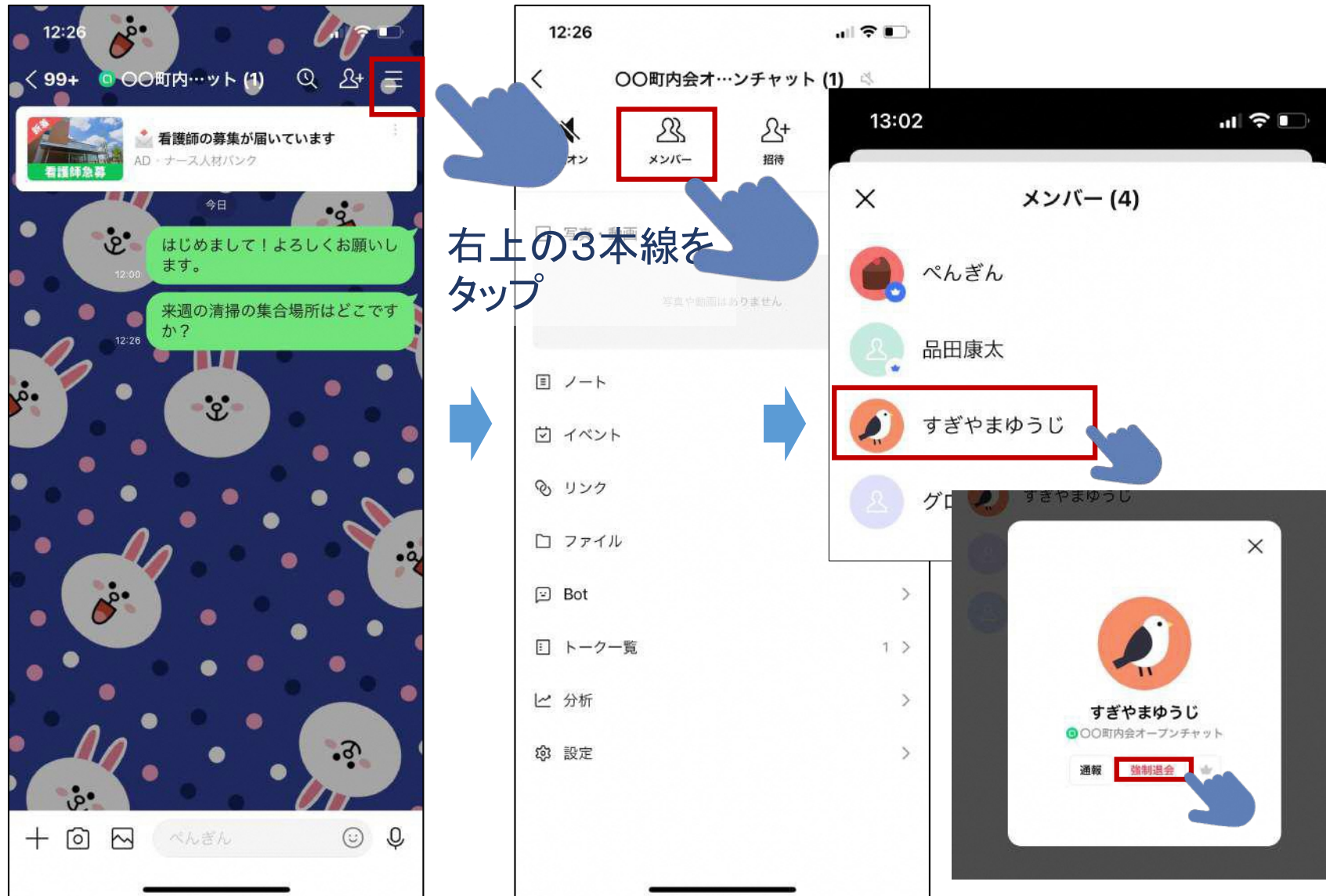
右上の3本線を
タップ



青い王冠マークが
管理者
白い王冠マークが
共同管理者です

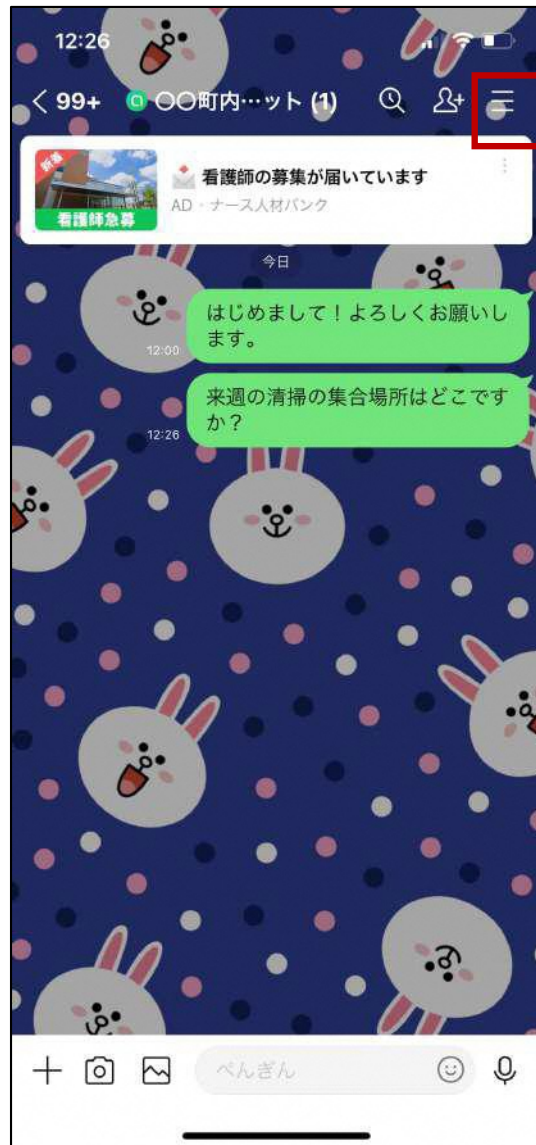


ちなみに2(管理者や共同管理者が参加者を強制退会させる方法)



オープンチャットに 招待する

オープンチャットに招待する方法



右上の3本線を
タップ



「招待」をタップ

このQRコードを
カメラアプリなど
で読み取れば
参加できる





もうすでにLINEで友だちになっている方を招待する場合
「友だちを招待」で友だち一覧が開くので、招待したい友だちを選択する

回覧板や書類にQRコードを貼り付けたい場合
「QRコードをシェア」→メールなどでパソコンなどに送る

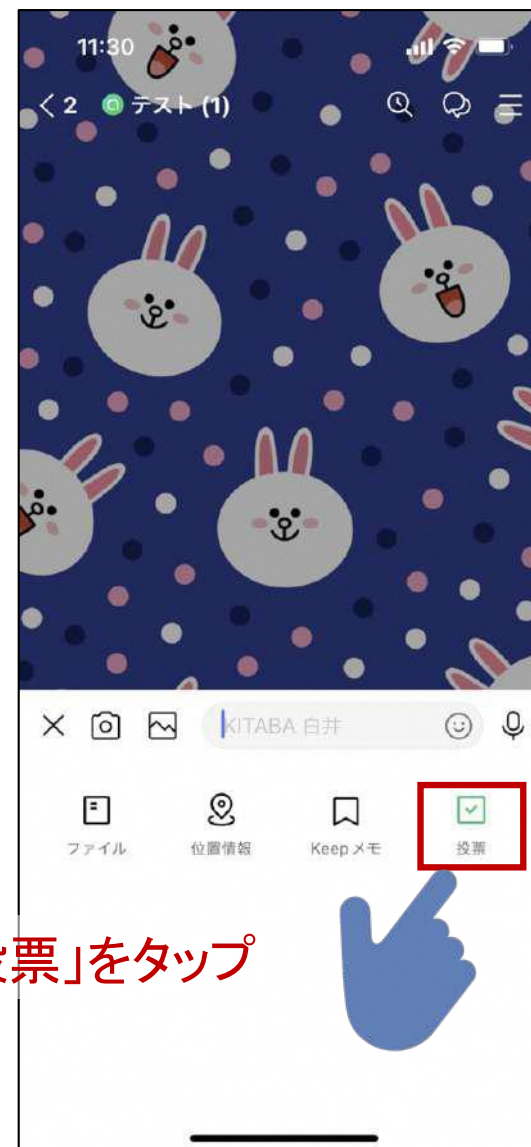
オープンチャットで 日程調整する

投票機能の使い方

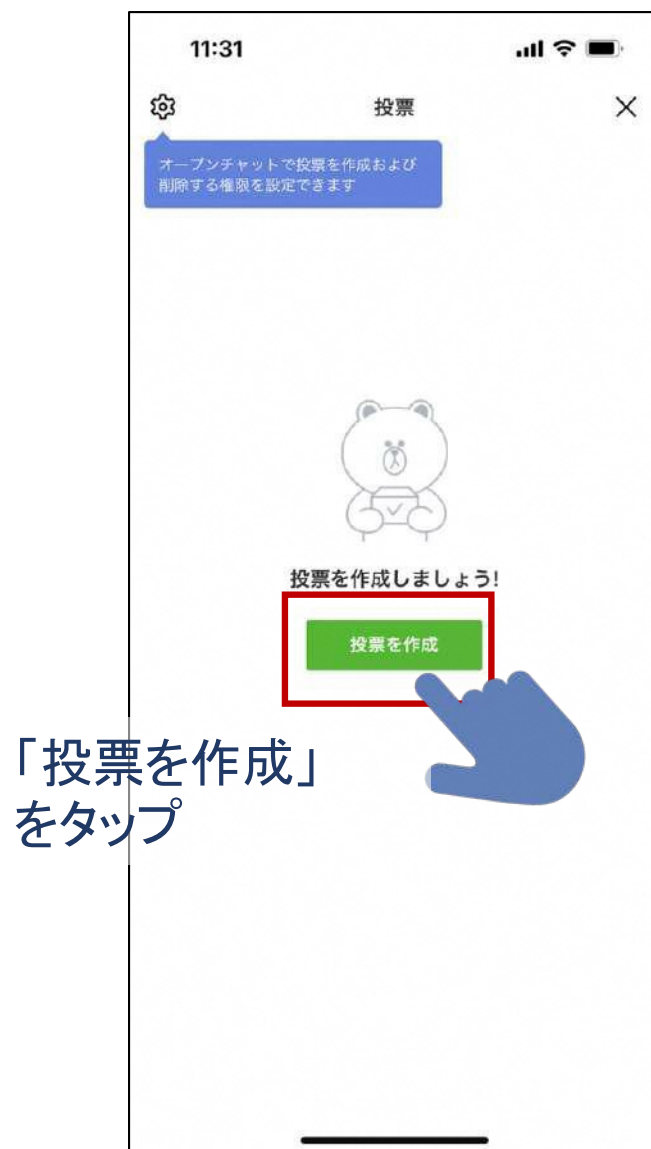
左下の+をタップ



「投票」をタップ

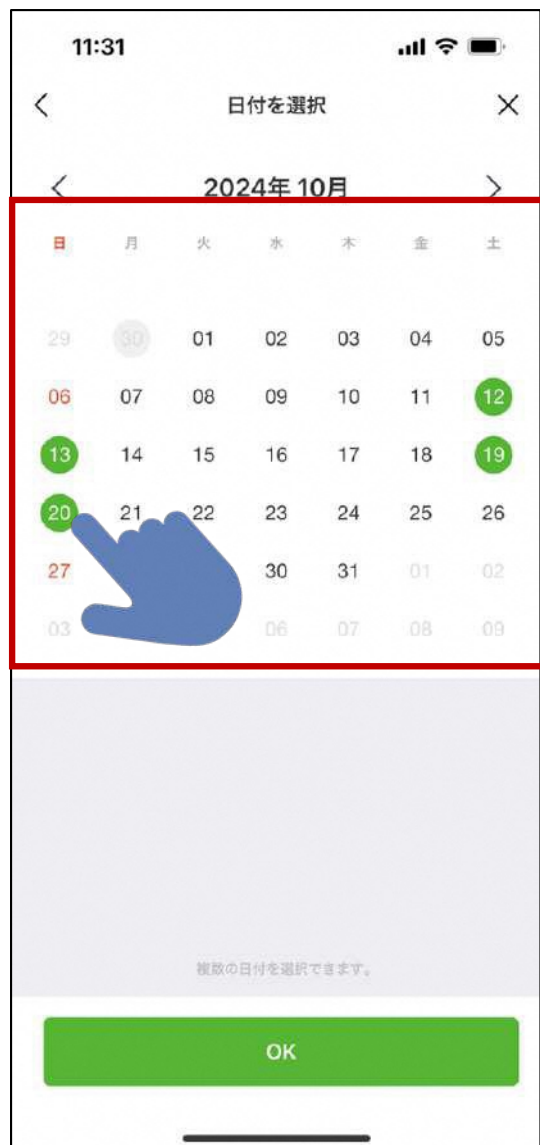


投票機能の使い方



投票機能の使い方

日付を選択



選択した日
がここに表
示されます。



投票機能の使い方

終了日時を
設定

複数選択可
な場合は
「複数選択
可」にチェック

完了をタップ

11:32

< 投票を作成 >

テキスト 日付

1. 2024.10.13(日)

2. 2024.10.13(日)

3. 2024.10.19(土)

4. 2024.10.20(日)

5. 日付を選択

✓ 終了日時を設定
2024.10.4(金) | 午後 3:00

☐ 複数選択可

☐ 匿名投票

☐ 選択肢の追加を許可

キャンセル 完了

トーク画面
に投票が
表示されま
す。



投票機能の使い方

あとは参加者に投票
していただくだけで日
程調整が行えます！

11:32 11:32 11:32

投票する

残り4日

出欠確認

作成者: KITABA 白井

0人が参加中

☐	2024.10.12(土)	0
☐	2024.10.13(日)	0
☐	2024.10.19(土)	0
☐	2024.10.20(日)	0

投票を終了 投票

お役立ち機能



ノート機能

- 誰もが文章を書き込んだり、書き込まれた文章にコメントをしたりすることができる。参加者がいつでも見返すことができる
- →オープンチャットのルールや町内会・団体のルール、参加者に知らせたいことをまとめておくことができる

イベント機能

- イベントの日時を参加者にお知らせすることができる